

下水道使用料の見直しに関する意見分析について

1. 結論

全 34 件の意見を分析した結果、市民はインフラ維持の必要性自体は理解しつつも、物価高騰下における生活への圧迫と、行政のプロセス（経費削減努力の不透明さ）に対して懸念を抱いています。

- キーメッセージ** 市民の関心は「単なる値上げ反対」だけでなく、「行政の姿勢」と「決定プロセスの透明性」に向けられています。意見募集を「すでに決定している事項の追認プロセス」と見なす声が、多くの共感を集めています。
- 調査概要**
 - 意見募集期間**：2026/5/1～6/30
 - 投稿件数**：34 件

【届けられた市民の声を生成 AI により「論点」として分類】



【上位 3 論点の内訳】

- インフラ維持とサービス水準の選択 (16件)**
- コスト削減と行政の効率化 (15件)**

老朽化対策と、サービス水準や範囲をどう維持・縮小するかの議論。まず行政側で削るべき項目や効率化策を優先すべきという要求。



- 情報伝達と意見募集のあり方 (13件)**

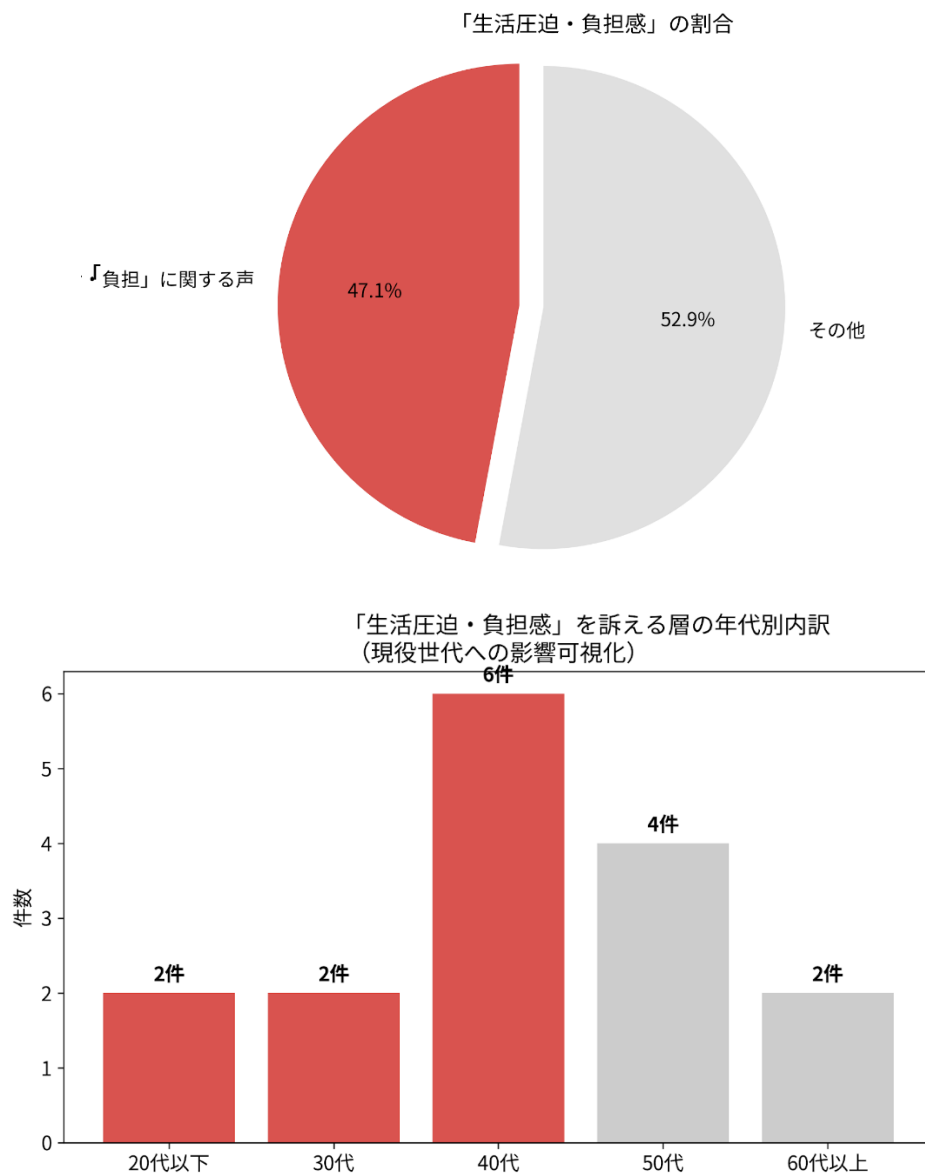
市の広報・説明方法や住民意見の取り扱いに対する不満・要求。



2. データの分析(定量的・定性的アプローチ)

市民の声①：生活インフラへの負担増と家計圧迫

- **キーワード・共感（いいね）分析:**「負担」「生活」「圧迫」「苦しい」「基本」などの特定キーワードを含む意見は、全体の約 47.1%（16 件/34 件）を占めています。特に若年層・単身世帯からの切実な声が、上位の共感（いいね）を集めています。
- **象徴的な声:**
 - **獲得いいね数 4:**「一人暮らしを 4 月から豊岡市で始めました。地元(県外)よりも下水道使用料が高く、1 カ月の水道料金の半分以上が下水道使用料です。収入も新卒で少ないし、家族からの援助も受けられないので家計が圧迫されてきつつあります。生活インフラの値上げはやめて欲しいです。生活が苦しいです。」
 - **獲得いいね数 4:**「物価の高騰、人口減による一世帯あたりの負担増は理解できます。しかし、生活インフラに自己負担増を求める前に、削るべきものがあるのではないのでしょうか。値上げにあたって、どう予算を割り振ったのか、そのほかにどう対策を講じたのかまで説明、同意を得ることが必要ではありませんか。」



市民の声②：削減努力の不透明さと「アリバイ作り」への不信感

- キーワード・共感（いいね）分析：**「経費削減」「削減」「アリバイ」「納得」「努力」「責任」などの特定キーワードを含む意見は、全体の約 23.5%（8 件/34 件）を占めています。値上げの前に市がどう身を切るのかという、行政の姿勢そのものに向けられた指摘に多くの共感が集まっています。
- 象徴的な声：**
 - 獲得いいね数 4：**「『これは決定ではありません』と書いてありますが、審議会の答申が出ている以上、もう役所の中ではこの金額で決まっているのではないですか？意見を募集して、それが実際にどう見直し案に影響を与えるのか、ただの『意見を聞きました』というアリバイ作りに見えます。」
 - 獲得いいね数 3：**「基本使用料の増額そのものより、使用料改定以外に市がどこまで経費削減や施設統廃合を進めるのかを知りたいです。市民負担を求めるなら、維持戦略と削減努力も同じ熱量で示してほしいです。」

